



平成14年度 第18回

京都まちとみどり 写真コンクール 入選作品集

主催 ● 京都府都市計画協会

共催 ● 京都府・京都市・財京都府公園公社・

(財)京都市都市緑化協会・(社)京都府造園建設業協会

後援 ● 京都府市長会・京都府町村会・京都新聞社・KBS京都・
エフエム京都

協賛 ● 京都府造園組合連合会・京都府写真材料商業組合・

(社)日本植木協会京都府支部・(社)日本造園建設業協会京都府支部・

(財)日本造園修景協会京都府支部・コニカマーケティング株式会社(順不同)

京都まちとみどり写真コンクール

緑とオープンスペースは、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っております。

京都では、この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「まちの緑と公園」、「身近な小さな緑」、「窓辺の花や緑」、「まちの水と緑」などをテーマに「第18回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。今回は特別賞として「綾部市長賞」が新たに設けられ、325点の応募作品の中から入選作品44点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京 都 府

京 都 市

(財)京都府公園公社

(財)京都市都市緑化協会

(社)京都府造園建設業協会

第18回 京都まちとみどり写真コンクール 入賞者一覧

◆京都府知事賞

「緑の祇園祭」 山田 高

◆京都市長賞

「新緑が映える」 小畑 禮司

◆綾部市長賞

「フローラ美容院営業中」 安藤 良業

◆(財)京都府公園公社理事長賞

「憩いのひととき」 久故 博睦

◆(財)京都市都市緑化協会理事長賞

「緑につつまれて…」 岡田 昇

◆(社)京都府造園建設業協会会長賞

「緑と遊ぶ」 中西 昭次

◆優秀賞 (順不同)

「そば降る町角」 三上 敏雄

「水とのハーモニー」 亀井 艶子

「新緑の頃」 神内 宏輝

「門前を飾る緑と花」 貞廣 雅代

「夏の午後」 浜崎 照男

「都心のオアシス」 今森 保夫

「春のかおり」 有本 隆司

「園児と噴水」 宿院 勉

「いこいの場所」 梅原美紀子

「やすらぎスポット」 佐野 敏之

◆佳作 (順不同)

「緑と花に囲まれて」 廣田 一雄

「鈴立を見る白い花」 木村 清松

「昼下がりの緑道」 畑 精一

「抜け道の鎮守の森」 米田 嘉三

「桜並木と鴨川の清水」 西沢 五郎

「水と緑のタペストリー」 横道 政一

「プールが待ってる」 石井 實

「お姉ちゃんの真似」 松田 勇

「葛 春秋」 大音 衛

「小さな花壇」 三上 穆

「緑に囲まれた橋」 森鼻 典正

「街中の緑」 中村 元三

「夏日」 笹川 一

「みどりを楽しむ」 斉藤 かの

「黄昏」 本間 豊明

「緑とSL」 柳本 悦夫

「花いっぱい玄関」 大塚 修司

「グリーン、バス、ターミナル」 阪口 征生

「ある日の午後」 朝田信一郎

「水と緑の伏見」 余田 功

「黄色い花の咲く河原」 森津 二郎

「フラワーブリッジの造形」 西出 哲也

「自然に恵まれた公園」 桑原 秀樹

「まちの緑と公園」 小川 泰

「今日から二学期」 山本 純子

「大気の息吹」 山本 清

「蘇る棚田 (ハス園)」 片山 亨

「京の町家のガーデニング」 尾崎 恵一

京都府知事賞1点、京都市長賞1点、綾部市長賞1点、(財)京都府公園公社理事長賞1点、(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点、(社)京都府造園建設業協会会長賞1点、優秀賞10点、佳作28点 合計44点



「緑の祇園祭」

山田 高

撮影場所：御池通（京都市中京区）



「新緑が映える」

小畑 禮司

撮影場所：新風館（京都市中京区）

綾部市長賞



「フローラ美容院営業中」 安藤 良業
撮影場所：広小路（綾部市）

(財)京都府公園公社理事長賞



「憩いのひととき」 久故 博睦
撮影場所：京都会館中庭（京都市左京区）

(財)京都市都市緑化協会理事長賞

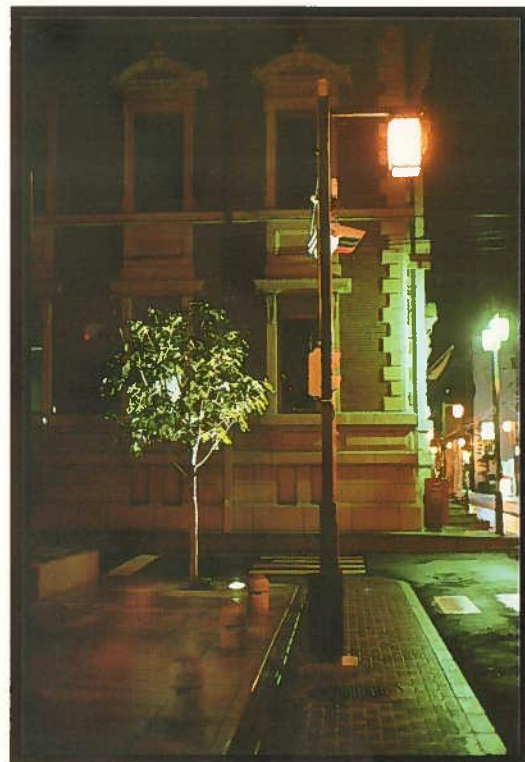


「緑につつまれて...」 岡田 昇
撮影場所：岡崎（京都市左京区）

(社)京都府造園建設業協会会長賞



「緑と遊ぶ」 中西 昭次
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「そば降る町角」三上 敏雄
撮影場所：三条通東洞院（京都市中京区）



「水とのハーモニー」亀井 艶子
撮影場所：御池通（京都市中京区）

「夏の午後」浜崎 照男
撮影場所：京都競馬場（京都市伏見区）



「新緑の頃」神内 宏輝
撮影場所：嵐山東公園（京都市右京区）



「門前を飾る緑と花」貞廣 雅代
撮影場所：岡崎神楽岡町（京都市左京区）



「都心のオアシス」今森 保夫
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「春のかおり」有本 隆司
撮影場所：赤レンガ博物館（舞鶴市）

「やすらぎスポット」佐野 敏之
撮影場所：男山団地（八幡市）



「園児と噴水」宿院 勉
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「いこいの場所」梅原美紀子
撮影場所：京都フラワーセンター（精華町）





佳作



「緑と花に囲まれて」廣田 一雄

撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「鉾立を見る白い花」木村 清松

撮影場所：室町通（京都市中京区）



「昼下がりの緑道」畑 精一

撮影場所：白川筋古門前町（京都市東山区）



「抜け道の鎮守の森」米田 嘉三

撮影場所：東油小路町（京都市下京区）



「桜並木と鴨川の清水」西沢 五郎

撮影場所：鴨川（京都市東山区）



「水と緑のタペストリー」横道 政一

撮影場所：宇治市植物公園（宇治市）



佳作



「プールが待ってる」石井 實

撮影場所：西京極総合運動公園（京都市右京区）



「お姉ちゃんの真似」松田 勇

撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



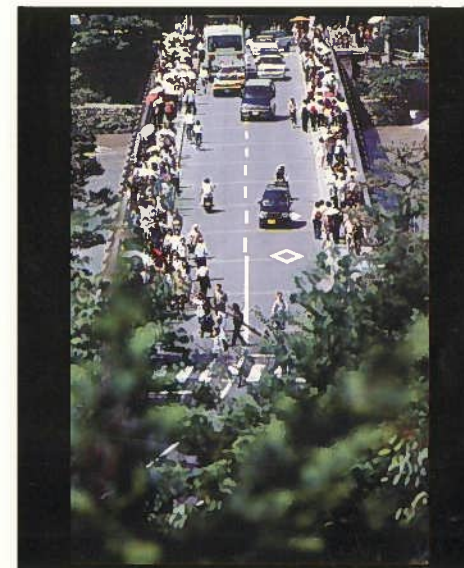
「葛春秋」大音 衛

撮影場所：京都会馆（京都市左京区）



「小さな花壇」三上 穆

撮影場所：二軒茶屋団地（京都市左京区）



「緑に囲まれた橋」森鼻 典正

撮影場所：嵐山渡月橋（京都市右京区）



「街中の緑」中村 元三

撮影場所：京都ホテル（京都市中京区）



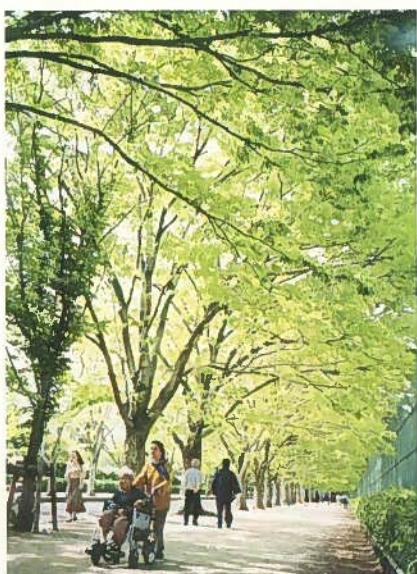
佳作



「夏日」 笹川 一
撮影場所：京都アクアリーナ（京都市右京区）



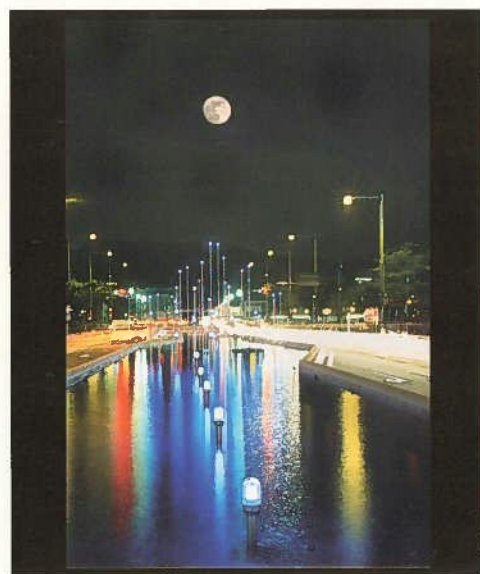
「緑とSL」 柳本 悦夫
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「みどりを楽しむ」 斉藤 かの
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「花いっぱいの玄関」 大塚 修司
撮影場所：御池通（京都市中京区）



「黄昏」 本間 豊明
撮影場所：御池通（京都市中京区）



「グリーン、バス、ターミナル」 阪口 征生
撮影場所：洛西バスターミナル（京都市西京区）



佳作



「ある日の午後」 朝田信一朗
撮影場所：白川橋（京都市東山区）



「水と緑の伏見」 余田 功
撮影場所：京橋（京都市伏見区）



「黄色い花の咲く河原」 森津 二郎
撮影場所：賀茂川（京都市上京区）



「フラワブリッジの造形」 西出 哲也
撮影場所：宇治市植物公園陸橋（宇治市）



「自然に恵まれた公園」 桑原 秀樹
撮影場所：西山公園じゃぶじゃぶ池（長岡京市）



「まちの緑と公園」 小川 泰
撮影場所：けいはんな記念公園（精華町）



佳作



「今日から二学期」 山本 純子

撮影場所：丹波口付近（京都市下京区）



「大気の息吹」 山本 清

撮影場所：堀川通寺之内（京都市上京区）



「蘇る棚田（ハス園）」 片山 亨

撮影場所：志賀郷町（綾部市）



「京の町家のガーデニング」 尾崎 恵一

撮影場所：御池通中新道角（京都市中京区）

第18回 京都まちとみどり写真コンクール講評

第18回京都まちとみどり写真コンクール審査委員長
（京都写真家協会会長）

横山 健蔵

10月の都市緑化月間行事の一環として開催しております「京都まちとみどり写真コンクール」は『まちの緑と公園』、『身近な小さな緑』、『窓辺の花や緑』そして第3回世界水フォーラムにちなんで、今回新たに設けられました『まちの水と緑』等をテーマに募集を行いました。また、今回は、特別賞として『綾部市長賞』を設けたことにより、京都市域だけでなく、京都府下の広範囲に及ぶ地域の方々から御応募いただきました。

さて、今年の作品についての講評を申し述べたいと思います。

「京都府知事賞」は、京都の伝統的な祭である祇園祭を独特な角度から捕らえています。緑の背後に祭のにぎわいがあり、さらにその奥にビルがそびえ、都市の緑がうまく表現されています。躍動感のある祭の動きと落ち着いた緑の静も感じられ、様々な要素が絶妙に整合されている素晴らしい作品です。

「京都市長賞」は、まちなかの緑を上から眺めた作品で構図が工夫されています。自転車の赤は緑の補色であり、赤がよく映えたインパクトのある作品に仕上がっています。このような自転車タクシーは環境保全の観点からも注目されている取り組みであり、話題性のあるものを取り入れることにより、作品のおもしろさと鮮度を感じます。

「綾部市長賞」は、よく手入れされた花や犬のバランスがよく表現されており、身近な緑が安らぎを与えてくれることをうまく表現しています。

「財京都府公園公社理事長賞」は、なにげないワンシーンですが手前に配された彫刻が作品に奥行きを与え、テーマの一つである『まちの水と緑』をうまく取り入れた作品となっています。噴水からしたたる水と緑の木陰が夏のひとときに涼を運ぶ様子が伝わり、よくまとまった作品となっています。

「財京都市都市緑化協会理事長賞」におきましても、『水』が取り入れられた作品となっており、水面に映された像が作品におもしろさを与えています。レンガの建物を背景に水と緑が人々に安らぎを与えている様子が伝わる良い作品となっております。

「社京都府造園建設業協会賞」は、花壇造りに参加する人々と鮮やかな花がカラフルに表現されています。これだけ多くの人物が撮影されているながら花の存在感もあり、シャッターチャンスの工夫が感じられる、躍動感のある良い作品となっています。

総評を申し上げます。

応募作品数は325点、応募者は15歳から88歳までの幅広い年齢層の方々152名と、熱意ある作品を多くの方々から御応募いただきました。今回は、新たなテーマとして『まちの水と緑』や特別賞を設けたこともあり、幅広い内容の作品を見ることが出来ました。また、躍動感のあるものや構図等に工夫のあるものなども多く、さすがに18回の歴史を感じさせるレベルの高い作品が揃いました。

目を引く力のある作品とは、作者の意図を分かりやすく表現している作品です。カメラを構えて『まちとみどり』に目を向け、皆さんの都市緑化への思いが高まり、素晴らしい作品がますます増えることを期待します。

